

# 安心の吹田へ、まず開発問題の解決が先決



「公害道路やめて」と訴える市民のみなさん

署名集め」に許可を与えておきながら、もう一方で「住民投票は必要ない。J・Rと合意する」ですから。

有田 あの時マスコミ各社も注目して、「うめかも」の名前が一気に広がりました。それと同時に、「住民投票の結果を待つてから決める

## 岩根 良さん

吹田を夕張にしてはならない。税金は市民のために使うべき

べきでは」と、現市長のやり方に疑問も広がりましたね。

岩根 吹田市の環境アセス条例は、

開発業者にとっては大変厳しい条例だといわれています。実は「うめかも」問題を想定して条例を作ったと聞きます。梅田貨物が来るのなら厳しく規制をして、公害が出ないような形で決着しよう、政府やJ・Rに対して、住民の要望が届くようにしようという意図ですね。ところが、せつかくの条例を十分に機能させていない。3万通を超える意見書、4回にわたる公聴会、そして住民説明会…。現市長は形式的な手続きだけをふみながら、勝手に合意した



## 春田 圭子さん

いつまでも、民・民の問題と逃げ回らないで、ライフラインを守る責任を

# 私有地でも下水問題は市の責任で解決を

岩根 南吹田地域の方と懇談したときも同じ意見が出てきました。公害道路の出入り口はトンネルになるのですが、吹六小学校や保育園があるところに、なぜわざわざ出入り口を持ってきたのか、そのまま神崎川を渡って大阪市内に出ればいいじゃないか、などですね。

有田 岸田前市長は「住民のみなさんの声を背景にしてJ・Rや国と交渉する」とおっしゃっていました。本来な



側溝も崩れかけている

ら住民投票をやつて、その結果を持つて、国やJ・Rと交渉すれば、「解決に向けたお互いの譲歩」が勝ち取れたのではないかと、残念です。では次に新芦屋の私有道路問題についてですが、実情はどうなのですか？（15ページも参照して下さい）

## 私有道路掘り返して

不動産会社に800万円も

春田 道路というみんなが使うものが「個人の所有物」であると、様々な問題が生じます。私は戦争中からこの地域に住んでいますが、当時は地主さんが、所有する田んぼや雑木林をポツリポツリと売っておられました。とこ



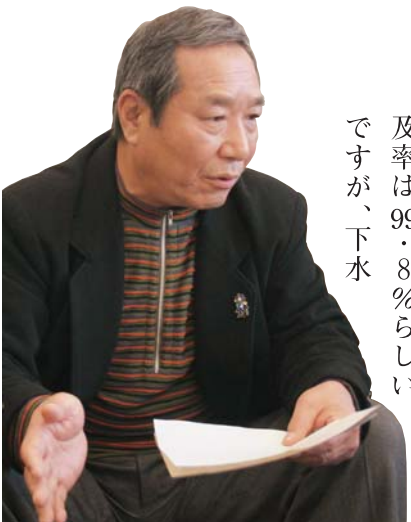
私道に開いた大きな穴。放置すれば危険なのだが…

## どうすれば「住み良い

吹田の街」になるのか

有田 みなさんから様々な問題が出されました。最後に、どうしたら「住み良い吹田の街」になるのか、具体的な提案があればどうぞ。

春田 吹田の隅々まで開発され尽くした、という感じですが。山田や千里丘、佐井寺、千里山の緑が次々とマンションに変わってしまいました。タケノコを掘ったり、ウサギ狩りをした千里丘の自然は、もう戻らないでしょう。これ以



## 藤井 幸雄さん

うめかも移転合意する前に、せめて住民投票をしてほしかった

# 市長は勝手に住民投票必要なしと「J・Rと合意」

有田 いくらくらいの「掘削料金」を？  
春田 家の敷地面積にもよりますが、300万円から800万円。わずか1mほどの道路を掘り返すのに、ですよ。吹田市の下水普及率は99・8%らしいですが、下水

岩根 「民・民の問題」と片付けてしまつと、結局、力の強い者が勝つんです。この

が入っていない所帯のほとんどが新芦屋地域です。つまりS不動産が許可しないため、公共下水道が引き込まれず、私たちはいまだに汲み取り便所か浄化槽です。

私たちは何度も市役所へ行きました。しかし「民間と民間の問題に、市は口出しできない」とただそれだけ。もう25年間もこの状態なので、住民は高齢化し、ハッキリ言つて「あきらめムード」も漂っています。しかしこの時代に下水道がないっていうのも問題でしよう？吹田市には「ライフラインを守る」という責務もあるはずですよ。

有田 「私有地だから、当事者同士で解決を」という理屈もあるでしょうが、ライフラインの問題ですから、人権に関する問題でもあります。吹田市の姿勢が問われていますね。

岩根 「民・民の問題」と片付けてしまつと、結局、力の強い者が勝つんです。この